

# 感染症情報 2月10日～16日

府下小児科194医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,514例	(堺市 127例)
②RSウイルス感染症	334例	(堺市 38例)
③溶連菌感染症	194例	(堺市 31例)
④咽頭結膜熱	45例	(堺市 7例)
⑤水痘	31例	(堺市 4例)

府下302医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	554例	(堺市 43例)
---------	------	----------

報告数による順位。前週比1.3%減の2,199件。感染性胃腸炎が府下で前週から8%増、堺市で前週108例→今回127例。RSウイルス感染症が府下で1%減、堺市で前回20例→今回38例。溶連菌感染症が府下で34%減、堺市で前週40例→今回31例。咽頭結膜熱が府下で26%減、堺市で前週3例→今回7例であった。水痘が大阪府で前週から9%減、堺市で10例→4例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で前週9例→今回4例。堺市で前週・今回とも0例であった。

インフルエンザが府下で前週706例→今回554例で22%減。堺市は前週83例→今回43例で48%減。定点当たり大阪府は1.83、堺市は1.48であった。大阪市北部・大阪市西部・大阪市南部では増加しているとある。

府下302医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症	933例	(堺市 112例)
大阪府定点	3.09	堺市定点 3.86

0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
43	87	97	127	68	76	79	91	76	86	103	933

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,201例→今回933例で22%減、定点当たり3.99→3.09であった。堺市で前週149例→今回112例で25%減、定点当たり5.14→3.86であった。大阪府のブロック別で今回もワースト2位。

麻疹や風疹はなかった。